

令和4年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	64	学校名	県立袋井商業高等学校	記載者	山本耕司
------	----	-----	------------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評価	意見
ア	商業の学びと実践との融合	授業で学んだことが袋商ショップで役に立ったと感じる生徒 95%以上。	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・袋商ならではの学びができ、社会に出てからも自信になる。達成状況 81.1%と感じられたことは良かった。授業と実践が結びついたこと、売れ残らないような工夫もして良かった。 ・商業教育(専門教育)は、その存在意義を明確にして地域等に訴えていくことが常に求められてきました。商業教育の学習の意義や価値とともに、袋井商業高校の存在意義を教職員で共有することが重要だと考えます。
	袋商ショップの充実	創立 100 周年に向けた袋商ショップの運営方法改善策の立案。第 20 回袋商ショップで一部を試行する。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも 4,000 人以上の集客力は素晴らしい。キャッシュレス決済が出来なかったのは残念でした。マニュアル通りでないケースバイケースの対応がスムーズにできるとよりいい。 ・袋商ショップには、「going concern」(企業の存続可能性、継続企業の前提)というこの言葉は本当に意味のあるものだと感じています。経済社会の変化に対応しながら、また教育の一環として工夫改善・試行錯誤しながら続けていってほしい。 ・20 回を数える中で、ややマンネリ化を感じる。運営方法の改善・見直しが必要ではないか。今後の袋商ショップの在り方や、これから社会で求められる販売方法を考えるとキャッシュレス決済導入というものも当然必要となってくるので指導を願いたい。
	商業検定合格者・資格取得者の増加（中上位層の学力伸長）	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の簿記、情報処理、電卓検定合格率全て 90%以上 ・卒業までに 1 級を取得する生徒 50%以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・上位層を伸ばすことができる環境づくりが最も大切だと考えます。 ・なぜ、商業高校を選んだのかという原点に戻り、目標設定や取組を始めることが大切だと思う。授業で教えてもらえるのは贅沢なこと。商業学校なので、商業科目は是非頑張ってもらいたい。
イ	生徒の能力を引き出す授業の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・板書、プリント等、授業のUD化を実践している教員 90%以上 ・日常的な ICT 機器活用又は対話型・探究型活動を取り入れた授業 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT 活用により効率化、時間短縮、認識などの良い面と新たに改善していく面の仕組み作りが課題だと思う。今後、授業のUD化する目的を理解させるためには指導する側が焦点、視覚化、共有化等について丁寧に進めていかなければならないと思う。

様式第5号

		<ul style="list-style-type: none"> を行っている教員 50%以上 ・授業に満足している生徒 80%以上 			<ul style="list-style-type: none"> ・主体性、協働、連携の視点で、商業高校として育成すべき資質能力を問い直してみる必要があると思います。それらを明確にすれば、更に素晴らしい学校になると感じます。
	基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの基礎診断結果GTZのD3の生徒0人 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力は普遍的なものではなく、社会の変化・進歩に伴って変わっていくものだと考えます。主体性、協働、連携を視点として、商業高校として定着すべき基礎学力を問い直してみる必要があると思います。
	観点別評価の実践と評価	<ul style="list-style-type: none"> ・評価規準に即した観点別評価を実施した教員 100% ・評価方法・指導方法について検討した教員 100% 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「正当な評価」を「不断の努力」で常に求めていく姿勢があれば、全く問題ないと考えます。 ・授業の改善についての取組は評価できる。課題にもあるように評価のための授業とならないように気を付けていただきたいと思います。
	読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・年間で6冊以上の読書をした生徒 75%以上 	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・読書から得た知識はなくならないので、「なぜ読むのか」考えてほしい。人生に一度くらいは「本を読まずにはいられない」時が来たらいいなと思います。名言格言に興味を持ち人生を変えた人も多くいる。 ・生き方に悩んだりした時、大学受験などの際に書籍を読ませて考えさせる、ジャンルを決め興味ある本を読むなど、機会をとらえて読書を勧め、読書させることをしていけばいいと思います。 難しいと思うが、読書に興味を持たせる活動が必要になると思います。
ウ	基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席年間6回以上の生徒 10%以下 ・朝食摂取率 90%以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・公立高校の最大の強味は「教員の質の高さ」です。これは、研修の機会が保障されていることや、転勤で豊かな経験を積めることなどが要因かと思います。袋商の総合的な教育力の高さが、この項目に良く表れています。素晴らしいことです。 ・年間6回以上の欠席をした生徒の理由を調査し、場合によっては対策を考えた方が好ましいかもしれない。気になる生徒への早めの声掛け、話を聞くことを大事にしてほしい。
	ビジネスマナー(BM)指導の徹底と改善	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識・ビジネスマナーの育成を意識した指導を行っている教員 100% ・学年主任会を隔月開催し、指導基準を統一 ・必要があれば指導基準の変更実施 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・袋商の総合的な教育力の高さが、この項目に良く表れています。教員の生きた指導により生徒の意識も変わり、蓄積されている。コロナ禍等で大変な時期に指導をいただいていることに感謝以外のなにもものでもない。 ・生徒は教職員の言動をよく見ていて、評価しています。改めて教職員の言動を見直してください。

様式第5号

	創造力と協働力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・シヅクリ PROJECT に参加した生徒の満足度 80%以上 ・探究（提案）型プログラムへの生徒派遣・参加奨励 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・素晴らしい「取組目標」と「成果目標」です。更なる充実を期待します。 ・ふじのくに防災人材育成事業に積極的に参加し、企業などと連携し未来に向けての可能性やビジネスマナーを学び創造力と協働力の育成を高めていることを大きく評価したいと思う。
エ	希望する進路の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・2年終了時までに進路希望「未定」0人 ・進路選択が適切にサポートされていると考える生徒 80%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・袋商の素晴らしい点は、「学習指導、生徒指導、進路指導が有機的に結びつきながら展開されている」ところです。県内でも袋商は就職に強いことが分かります。 ・丁寧な進路指導をしていただいているように思えるが、敢えてそこに落とし穴がないか、もう一度検討していただけるとよいと思う。
	多様な生徒の支援及び特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・3分間カウンセリング実施率 95%以上 ・SC 相談件数年間 20件以上 ・スラックス型制服のUD 化、制服エンブレム・ソックスの見直し 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・対話により心の安定感に繋がり、学校生活だけでなく私生活にもプラスに働く重要なこと。 ・「長所を伸ばして、短所を長所でカバーする」ことが最も大切だと感じています。取り組む姿勢、成果ともに、素晴らしい。 ・話を聞くことに尽きるが、生徒と同じ目線で指導するという感覚ではない方がいい。時代の変化に伴い多様な生徒が増えてきた現在、教職員もその対応を勉強しなければならない。
オ	地域連携・貢献・協働の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・1部活動1ボランティアの実践 100% ・地域防災訓練に参加した生徒 90%以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域から存在意義が認められない学校は、少子化が進む状況の中では「整理統合こそ社会貢献」です。そのためにも、この項目はとても重要です。より一層の充実を期待します。 ・地域防災訓練の参加を取組目標の 90% 上げていただきたく思う。 ・地域連携・貢献は「高校生として何ができるか、地域にとって意義あることは何か」を考え行動できる力をつけてほしい。
	地域に根ざし開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・学校 HP を平日毎日更新 ・SNS 等による情報発信 ・通年掲示可能な学校宣伝ポスター新規作成 ・学校行事等の運営に参加した保護者のべ 120 人以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日更新は素晴らしい。継続は力なり。 ・地域の中学生など、HP や学校紹介を見て袋井商業の魅力を感じているという意見を聞いている。現在の袋井商業高校であれば、現段階に満足することなく今以上にハードルを上げて前進していただきたい。 ・HP やインスタグラムなど大きな武器になるが、画面上ではなく現実的な目の前に広がるもの（地域連携・貢献）があれば更に良い。
カ	部活動と学校行事の一層の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動に積極的に参加している生徒 80%以上 ・学校行事に積極的に参加している生徒 80%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に出ても積極的な行動が重視されるので、これからも意欲的に自ら進んで行ってほしい。 ・夢中になれることを見つけて、それに熱中することは、生徒たちを大きく成長させます。新しい時代の新しい部活動・学校行事の在り

様式第5号

					<p>方を「天下に示す」意気込みで取り組んでほしいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活を通じて人間関係調整能力を磨いていただきたく思うが、先生方には時間外労働などで迷惑をかけていることなどに頭が下がります。 ・中学校の部活動が変わってきている中で、中学生の意識を受け止め、どう高校の部活動に活かしていくかが必要。新しい部活動のあり方を考えることも必要だと思います。
キ	安全と環境に配慮した教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・マスク、換気、密回避の徹底 ・定期的な校内点検と迅速な対応 ・電気・ガス・水道使用量5%削減、ごみ処分量5%削減 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・何処まで出来るのかは未定だと思うが、せつかく袋商ショッパで各会社、各企業との繋がりがあるのであれば、各会社で行っている環境省認定のエコアクションや国際規格のISO等のレポートを拝見させていただき、それを参考に環境の整備を行うと良いと思う。
	人権教育の一層の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケートでいじめの可能性のある回答への聞取り実施100% ・いじめが疑われる事案を認知後、対応の遅れ0件 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・迅速な対応により生徒の行動が変わることに繋がるため、継続してほしい。いじめ認知能力を全校で高めていってください。 ・素晴らしい対応能力であるが社会に出れば何処でもあることなので、将来に対する対応力も考えてみなければと思う。 ・「誰にも、どこでもおこる」ということを全職員共通理解のもと、アンテナを高くして早めの対応をお願いします。 ・どういう解決か。
	働き方改革に対する組織的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・外部人材活用により教員に負担軽減の実感がある ・やめる・へらす・かえるを活用した業務改善5件以上 ・職員安全衛生委員会やストレスチェック事業を活用した職場環境等の改善 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・時間と活動には限りがあるため、外部人材の積極的な活用、業務削減、改善を推進してほしい。 ・「物理的・精神的なゆとりの中で教職員の協力体制をつくる」ことが最も重要だと思います。教員はゆとりの中では良い仕事をする習性が身に付いています。働き方改革も重要ですが、ゆとりを生み出すことは、もっと大切です。 ・働き方改革に対する問題は各企業でも頭を抱えながら休日問題、時間外労働、振替休暇などと多種多様に求められているが、部活動を持つ先生方の負担を思うと頭が下がる。
ク	創立100周年記念事業の準備	<ul style="list-style-type: none"> ・準備委員会の各部会で業務進行・準備委員会の実務会の開催3回以上 ・記念誌の進捗70%以上 ・式典構成、記念事業の内容決定 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの皆様が、それぞれの立場で頑張ってくださいありがとうございます事に只々感謝の気持ちで一杯です。